

平成 26 年 5 月 1 2 日

松山河川国道事務所

国道33号松山外環状道路インター線（井門IC～古川IC） 開通 1 カ月後の効果

～新たなルートによる効果が出ています～

平成 26 年 3 月 16 日（日）に開通した国道 33 号松山外環状道路インター線（以下「外環インター線」）井門 IC ～古川 IC 間 L = 1. 2 km について約 1 カ月後の利用状況及び効果についてお知らせします。

1. 交通量が外環インター線で増加、国道 33 号では減少

交通量は開通前に比べて古川 IC 付近で約 2,000 (台/12 時間) (1.4 倍) 増加しています。

一方、国道 33 号については椿神社入口交差点で約 1,000 (台/12 時間) 減少しています。

これについては、松山 IC ～国道 33 号～市道松山環状線を利用していた交通の一部が、外環インター線を利用したと想定されます。

2. 国道 33 号の渋滞が緩和

この結果、従来渋滞していた国道 33 号の交差点の渋滞が緩和されています。中でも国道 33 号の椿神社入口交差点北向きでは最大 560 m (約 75%) の渋滞が緩和されています。

3. 松山 IC ～松山中央公園までの移動時間が短縮

松山 IC ～松山中央公園までの移動時間が国道 33 号～市道松山環状線～国道 56 号経由と比べて約 10 分 (約 63%) の時間短縮が図られています。

※交通量の調査日

開通前・・・平成 25 年 11 月 13 日（水）

開通 1 カ月後・・・平成 26 年 4 月 22 日（火）

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO. 6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第 2 課

事業対策官：大西 良明（内線：208）

◎ 調査第 2 課長：大西 篤（内線：451）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0613

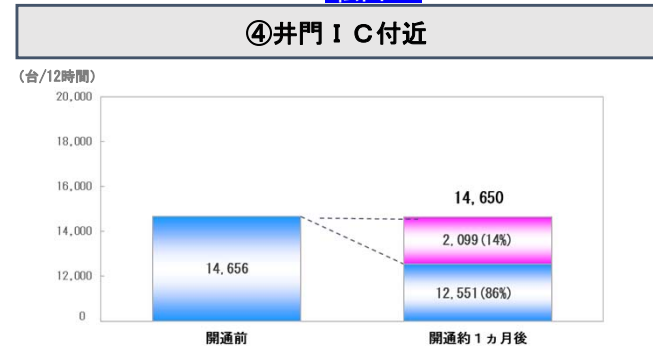
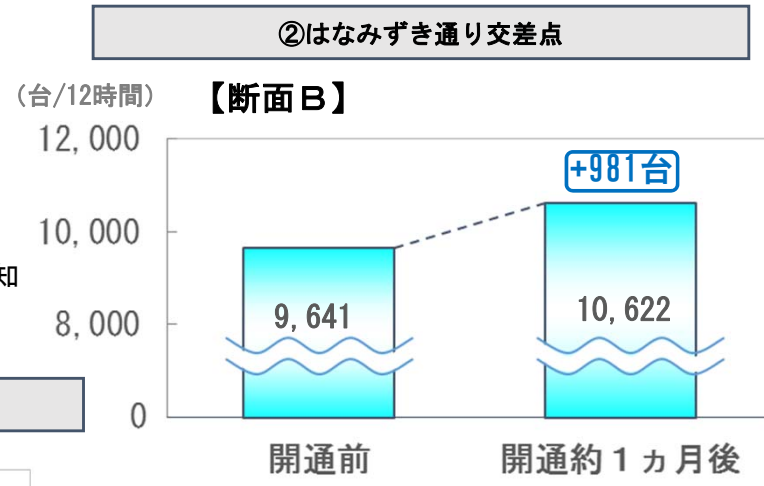
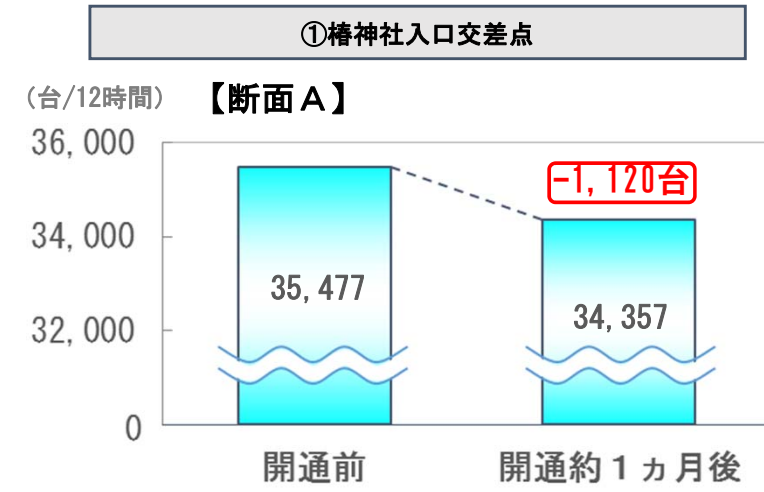
FAX 089-972-8117

◎：主な問い合わせ先

外環インター線部分開通による周辺道路の交通量の変化

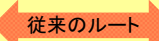
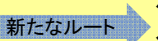
○従来、松山ICや市内中心部への移動経路である国道33号～市道松山環状線の交通量が減少し、外環インター線～市道千舟町古川線の交通量が増加していることから、交通の分散傾向が見られます。（ 従来のルート 新たなルート）

外環インター線周辺の交通量





【凡例】
 自動車専用道路交通量
 側道交通量

外環インター線部分開通による周辺道路の渋滞緩和

○外環インター線周辺の国道33号～市道松山環状線の交通が減少したことで、**渋滞の延長が緩和**している結果となっています。( ⇒ )

交通転換による渋滞延長の変化

【凡例】

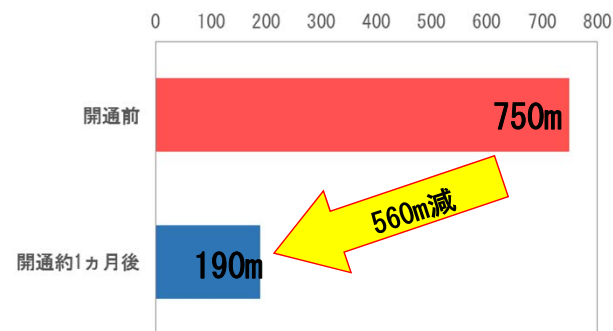
— 高速道路 — 国道 — 県道 — 市道
 松山外環状道路  H25年度開通区間



①国道33号 椿神社入口交差点

【渋滞A】

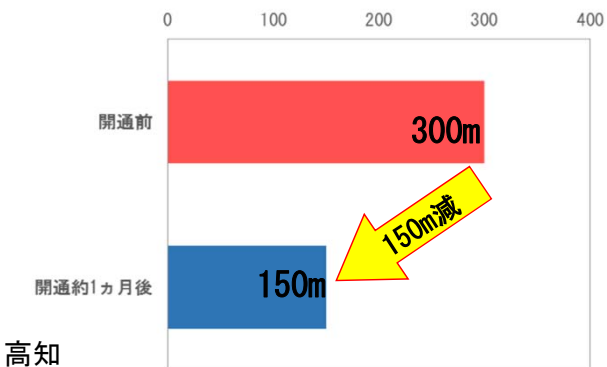
渋滞長約75%減



②市道千舟町古川線 はなみずき通り交差点

【渋滞B】

渋滞長約50%減



【調査実施日時】

開通前 : 平成25年11月13日(水) 7:00~10:00, 16:00~19:00
 開通1ヵ月後 : 平成26年4月22日(火) 7:00~10:00, 16:00~19:00

松山 I Cから松山中央公園までの移動時間が短縮

- 外環インター線の整備により、松山ICから松山中央公園までの所要時間が主要幹線ルート経由（国道33号～市道松山環状線～国道56号）と比べて、**約10分時間短縮**が図られています。
- 朝夕の混雑時でも、外環インター線を利用した新たなルートが主要幹線ルートより**約14分時間短縮**が図られています。

◆松山外環状道路インター線 井門IC～古川IC（平成26年3月16日開通後） 松山中央公園へのアクセスルート比較



【凡例】

- 高速道路
- 国道
- 県道
- 市道
- 松山外環状道路
- 今回供用区間

【調査実施日時】
開通1ヵ月後：平成26年4月22日（火）

所要時間の変化

松山ICから松山中央公園への所要時間

平均移動時間

国道33号～松山環状線～国道56号を利用したルート

約16分

外環インター線を利用したルート

約6分

10分の時間短縮効果！

混雑時最大移動時間

国道33号～松山環状線～国道56号を利用したルート

約24分

外環インター線を利用したルート

約10分

14分の時間短縮効果！

※移動時間は朝7:00～夕方18:00の調査結果

※平均移動時間とは朝7:00～夕方18:00まで、1時間おきに実測調査した移動時間の平均

※混雑時の時間帯は 朝 7:00～9:00
夕 16:00～18:00

※混雑時最大移動時間とは、調査時間内で移動に要した最大の時間